



2021年11月8日

各位

会社名 神田通信機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 神部 雅人  
 (JASDAQ・コード番号: 1992)  
 問合せ先 執行役員管理本部長 田辺 正行  
 電話番号 (03) 3252-7731

2022年3月期第2四半期累計期間の  
 業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2021年5月12日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期業績予想と実績との差異  
 (2021年4月1日~2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	2,700	△80	△70	△90	△37円19銭
実績 (B)	2,425	42	77	35	14円63銭
増減額 (B-A)	△275	122	147	125	
増減率 (%)	△10.2	-	-	-	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	2,744	196	235	158	65円96銭

2. 業績予想との差異理由

当初予想では半導体(関連部品含)不足による交換機の生産遅れによる納期への影響が見込まれましたので、業績へのリスクを見込み、業績予測を立てて事業を展開してまいりました。

売上高につきましては、主力事業である情報通信事業においては、一部半導体不足による製品供給の遅れによる影響がありました。また、あらゆる設備を一元管理するためのシステム「マルチゲートウェイ」や「クラウドビジネス」の新規事業が期待どおり進捗せず、計画を下回りました。照明制御事業、不動産賃貸事業は計画どおり推移しましたが、全体としては前回予想を下回る結果となりました。

利益面につきましては、付加価値の高い保守工事・保守料の売上が、ほぼ計画どおりに推移したことに加え、経費削減に努めたことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも前回予想を上回りました。

以上